

学習指導要領	都立蒲田高校 学カスタンダード
(1) 私たちの時代と歴史 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。 (2) 近代の日本と世界 開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。 ア 近代国家の形成と国際関係の推移 (ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。 (イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。 イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察	身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などを追究し、近現代の歴史的事象と現代の結びつきに気づくことで、自らが歴史の当事者であることを知る。 ・「原始」から「現代」までの時代区分や時代名を知る。 ・西暦・元号・世紀という表現方法を知る。 ・文字資料のほかに、どのような資料が歴史を知る手掛かりになるか考えることができる。 「近代への胎動」 ・欧米で資本主社会を特質とする近代国家が成立し、植民地を求めてアジアに進出したことを知る。 「明治維新」 ・ペリーの来航により開国し日米修好通商条約が締結されたが、その内容が不平等なものであったことを知る。 ・開国後の国内に、尊王攘夷派と公武合体派の対立があったことを学び、攘夷運動の挫折の結果から倒幕への流れになったことを知る。 「近代国家の確立」 ・明治新政府が富国強兵をスローガンとして、中央集権化を図るための政策を行ったことを知る。 ・明治維新の諸改革による士族層の没落が、士族反乱や自由民権運動につながったことを理解する。 「対外関係の変化」 ・明治政府が不平等条約改正に至った、国内的要因と国際的背景を知る。 ・日清・日露戦争の背景と経過理解し、日露戦争の勝利が非植民地国家に与えた影響を知る。 「政党政治の展開」 ・国内で、民衆運動が政治を動かしたことを理解する。 「近代産業の発展と社会運動の展開」 ・日本の産業革命が、政府の主導により始められ、製糸・紡績などの軽工業から技術革新が始まったことを知る。 ・工業化の発展により、労働問題や公害などさまざまな

	学習指導要領	都立蒲田高校 学カスタンダード
(3) 現代の日本と世界	させる。 (イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。 ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。 第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。	社会問題が発生したことを理解する。 「国民生活の変化と文化」 - 工業化の発展など、産業構造の変化により農村から都市部への大規模な人口移動が起きたことを知る。 - 明治・大正時代移行期の国民生活の変化を知る。 「第一次世界大戦と日本」 - 第一次世界大戦を契機として、日本が国際社会での地位を高めたことを知る。 - 大戦景気と社会・産業構造の変化について知る。 「第二次世界大戦と日本」 - 恐慌の発生による社会不安の増大と、軍部の台頭の関連を理解する。 - アメリカによる禁油政策を背景に、日本が南進を図り、連合国と開戦した経緯を知る。 - 第二次世界大戦の経過と、日本の敗戦について知る。
	ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。	「日本の再出発」 - 戦後、日本は連合国軍の占領下にあったことを知る。 - GHQ による五大改革の概要を知る。 - GHQ 草案をもとに新たに制定された日本国憲法について、大日本国憲法と比較する。 - 西側陣営と東側陣営の対立（冷戦）が始まり、世界が東西対立（冷戦）に巻き込まれたことを知る。 - サンフランシスコ平和条約により、日本が独立を回復したことを知る。
	イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。	「独立後の政治と対外関係」 - 日本は軍事面でアメリカに依存しつつ、高度経済成長を成し遂げて経済大国になったことを知る。 - 高度経済成長により社会構造や家族の形態が変化したことや、公害等の社会問題の発生を知る。

学習指導要領	都立蒲田高校 学カスタンダード
ウ 現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	「経済の発展と国民生活の変化」 ・雇用状況の変化と格差社会の出現について知る。 ・国際社会の中で、日本が経済大国として様々な分野で期待されていることを理解する。